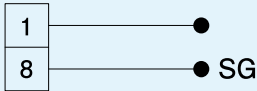


＜外部制御系の接続方法 例＞

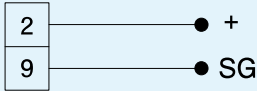
1.ハロゲンランプのON/OFF

光源装置の機能（光量リモート・ランプ切れ検出）を動作させながらハロゲンランプの点灯、消灯を繰り返す場合などに使用します。リモート用レセプタクルの1番～8番ピン（SG）間をショートさせると、ハロゲンランプがOFF（消灯）します。解除すればON（点灯）します。



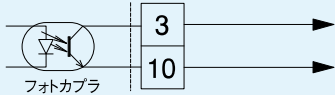
2.光量調節リモート

光量リモート切り換えスイッチをリモート側（REMOTE）に切り換え、制御電圧 DC0V+5.0Vをリモート用レセプタクルの2番～9番ピン（SG）間に印加します。



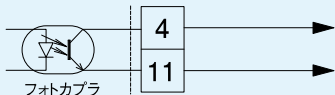
3.ハロゲンランプ切れ検出

ハロゲンランプのフィラメント切れやハロゲンランプ未装着時に赤色の警告灯が点灯、同時にランプ切れ信号をリモート用レセプタクルの3番～10番ピン間に出力（オープンコレクター出力）します。



4.ハロゲンランプ劣化検出 ※LA-150FBUのみ

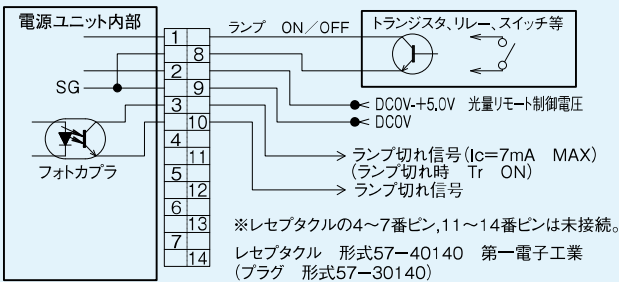
ランプが劣化などの原因で初期設定の光量範囲内に維持できない状態になった場合に黄色LEDが点灯し、同時にランプ劣化信号をリモート用レセプタクルの4番～11番ピン間に出力（オープンコレクター出力:Tr ON）します。



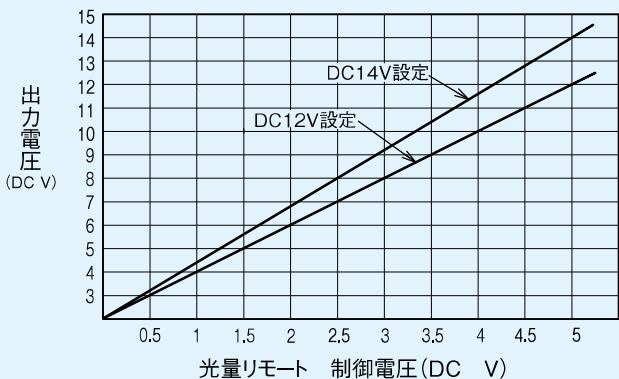
※指定外ハロゲンランプの仕様や指定以外のモニターファイバー付きライトガイド及び通常のライトガイド（モニターファイバー無し）の使用の場合は誤動作します。またLAMPモニター黄色（劣化）が点灯したりします。

●LA-150UE/LA-150CE/LA-100IR

＜外部制御系の接続図＞



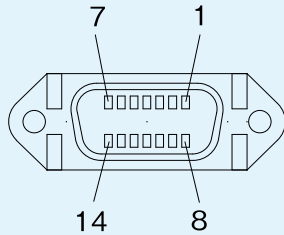
＜出力電圧とリモート制御電圧の関係＞



＜注意＞リモート制御電圧は最大DC+5V以下でご使用下さい。DC+5Vを越えますと出力電圧が定格オーバーになり、ランプ切れおよび電源故障になります。

＜リモート用レセプタクル＞

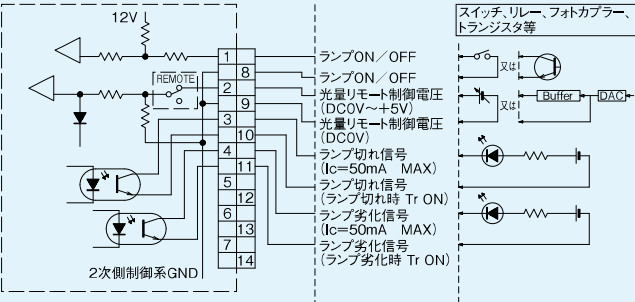
- 1-8：ハロゲンランプON/OFF
- 2-9：光量リモート制御電圧入力 (DC0V+5.0V MAX)
- 3：ランプ切れ信号出力 (+)
- 10：ランプ切れ信号出力 (-)



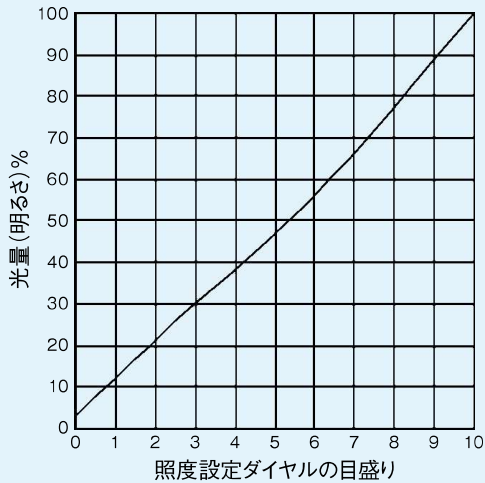
レセプタクル 形式57-40140
第一電子工業 (株)
(プラグ 形式57-30140)

●LA-150FBU

＜外部制御系の接続図＞



＜光量（明るさ）と照度設定ダイヤルの関係＞



＜光量（明るさ）とリモート電圧の関係＞

